

市民ワークショップ開催結果

1) 概要

次期明石市環境基本計画の策定に際し、10年後の明石の環境未来像やその実現に向けて一人一人に取り組めることについて、市民の皆さまとともに考えるため、ワークショップ「みんなで考える明石の環境のこれから」を開催しました。

日 時	内 容	参加者	
第1回	3月14日(日)	ゲームを通じてSDGsについて学ぼう	29名
第2回	3月21日(日)	最近の環境トレンドについて知ろう	30名
第3回	7月25日(日)	明石の10年後の環境未来について考えよう	25名
第4回	8月7日(土)	環境未来を実現するために私たち市民にできることを考えよう	20名

【第1回】ゲームを通じてSDGsについて学ぼう

○SDGs ゲームを通じて、SDGsの考え方や環境との関わりについての意識や関心を高める

(実施の様子)



(参加者の声)

- ・いろいろな価値観のある人々で、経済・環境・社会をバランスよくまわしていくことは本当に難しい
- ・何事もお金が必要な世の中であることを痛感。自分たちのことを客観的に見ることの大切さを学んだ。
- ・自分のチームでなんとかしようとしたけれど、他のチームの力を借りなければ達成できなかった。他のチームとのつながり、相談、コミュニケーションが大事。

【第2回】最近の環境トレンドについて学ぼう

○最新の環境問題の動向について学び、参加者同士で明石の現状や課題について話しあう

- ・大阪産業大学花田眞理子先生より、「今、環境のトレンドは？」と題し、気候変動、プラスチックごみ問題、食品ロス削減などの環境問題の現状や、SDGsを共通言語として、それぞれの立場でできることを考えることが大切であることなどについてご講演いただきました。(別添資料①)

(実施の様子)



(明石の今後を考えるうえでヒント・ポイントになりそうなこと・重要だと思うこと)

プラスチック

・海の町なので、海洋プラスチック問題に取り組もう／プラスチックごみを減らすためにできることはなにか／マイクロプラスチックの問題。これから先減らせるか？

食品ロス

・消費期限の考え方、既成概念の打破／地産地消をすすめたい／地産地消市民農園を創ろう／食品ロスを本当に生活に困っている人にゆずる仕組みはないか／作り手も買い手も考えるべき問題

考え方／行動

・まずは地球を第一に／次の世代のことを考えて行動／子どもたちに良い環境を残す
・環境問題を自分ごとに整理／身近な問題としてとらえるにはどうしたらよいか？

ごみ分別／リサイクル

・分別を面倒くさがらずにやる、リサイクルって大事／物を買う前・買ったとき・買って使った後のことまで考えたことはなかった／明石の海の環境をよくするため、ごみのポイ捨てを減らしたい

エネルギー

・再エネ地産地消を進めよう／公共施設はエネルギーの畑／災害に強いエネルギーのローカライズ
・太陽のまちあかして自分発電を／明石海峡は潮流発電に向いているかも

【第3回】明石の10年後の環境未来について考えよう

○第1回、第2回の内容を踏まえ、明石の10年後の環境がどうなっているかをみんなで考え、「10年後の未来新聞」としてまとめる。

(実施の様子)



(10年後の明石はこんな環境になってほしい)

「10年後の明石はこんな環境になってほしい」ということが実現した！と想定して・・・

<未来新聞>



緑・自然を増やそう

- ・街の緑を増やしましょう。
- ・明石全体の緑の面積が今より増えている
- ・植樹し緑の面積を増やし、CO2 を吸収
- ・公園が増えるとよい

海や川をゆたかに

- ・海岸漂着ごみが減りました。
- ・豊かな海を取り戻そう
- ・明石産の魚にはエコラベル(MSC 認証)

無駄使い・フードロス・ごみリサイクル

- ・フードロスをゼロにする
- ・包装物をへらして、むだなごみのない明石

まちをきれいに

- ・犬のふんを持って帰る
- ・公園の枝や花を守る

エネルギー

- ・避難所に太陽光。災害時も安心。
- ・各家庭・工場・公共施設に太陽光設置
- ・自分たちで使う電気は自分たちで作る
- ・畑ではソーラーシェアリング
- ・潮流発電の研究、投資

明石をこんなまちに

- ・SDGs小中一貫校。全国から視察殺到
- ・海峽の町を復活
- ・子どもを安心して預け、母親が働きやすい

【第4回】環境未来を実現するために私たち市民にできることを考えよう

○未来像を実現するために必要な取り組みや、ひとりひとりにできることを考える。

(実施の様子)



(未来像を実現するために必要な取り組み、ひとりひとりにできること)

エネルギー

- ・家庭に太陽光パネルを設置／ゼロエネルギーの高効率住宅を普及
- ・公共施設からゼロエネルギーを率先／工場、事業場にも太陽光パネルを設置
- ・小水力発電、地熱住宅、潮流発電など地域資源を活用したエネルギー利用
- ・公共交通の充実、カーシェアリングの普及、自転車道の整備による自転車利用促進などエコ交通

自然環境

- ・緑地面積を減らさない条例
- ・市民ボランティア等による植林活動の推進
- ・海を豊かに。明石の魚の MSC 認証取得によるブランド価値化

循環型社会

- ・プラスチックごみ対策の推進（プラスチック容器の使用を減らす、スーパーのプラスチックトレー廃止条例、ファーストフード店のプラスチックごみ規制条例、市経営のノープラスチック市場、プラスチックごみをふやさないパッケージにするなど製造側の対策を推進）
- ・マイボトル運動の推進／メーカーと連携して、ペットボトル再生リサイクルの取り組み推進
- ・インセンティブを活用した取り組みの推進（ごみの有料化、ポイ捨ての罰金、プラスチック税、リサイクルでキャッシュバックなど）

環境教育・学び

- ・環境教育の充実（SDGs小中一貫校の設立、学校や園と連携した教育、小中のカリキュラム充実など）
- ・学びの機会づくり(コミュセンの活用、若者向けのプログラム)

身近な行動

- ・子どもたちに伝える／SNS を活用して情報発信
- ・ごみを減らす、節水、省エネに取り組む
- ・家庭菜園でコンポスト
- ・ペットボトル飲料を買わない
- ・食品を買いすぎない、買ったものはあまさず使う
- ・3Rに加えて、リペア(修理・修繕)してものを大切に使う

以上